

人権フォーラム2023

第1部 表彰式 人権ポスター・人権標語等

第2部 講演

「男らしく、女らしくよりも自分らしく生きる
～共に生きるLGBTQ+を取り残さないために～」

講師 清水 展人(しみずひろと)さん

2023年8月20日(日)

加古川市民会館 大ホール

参加人数 : 726人

(市推 第2回全体研修会)



「人権フォーラム2023」に参加して

東神吉南小学校区

姫田 泰隆 さん

今年の人権フォーラムの講師は日本LGBT協会代表理事の清水展人さんでした。

講演テーマは「男らしく、女らしくよりも自分らしく生きる」で、LGBTQ+を特別視するのではなく、性の多様性を考えなければならないことをわかりやすく話されました。見た目だけでは分からないことや既成概念としての様々な思い込みや決めつけ・無理解が、性的少数者への種々の人権侵害や苦しみに繋がっていることを、私自身も意識させられることになりました。

清水さんは、女性として生まれましたが幼い頃から性別に違和感があり、身近な人の無理解や周りの差別的な言動に傷つけられたご自身の経験を語られました。21歳の時に海外で手術し、就労も苦勞の末、病院に勤務。周囲の反対を乗り越えて結婚し、現在、二児の父親になられています。清水さんの生き方やこれまでの取組に共感を覚えると共に、今まで自分自身の知識のなさや無理解が問題を生み出していることに気づかされるきっかけとなりました。

LGBTQ+の人は自殺を考えたことがある人の率が非常に高いと報告されています。

LGBTQ+は8.0%(約12.5人に1人)いるといわれており、悩んでいる人はきっと私たちの身近にも存在しています。性的指向や性自認は外見からは見て取ることができません。ちょっとした気遣いや「その人らしさ」を尊重する生き方が今後私たちに求められるようになっていと思っています。法的な整備が不十分ななか、加古川市が始めたパートナーシップ・ファミリーシップ届出制度についても、性の多様性に対する理解を深める意味ですばらしい取組です。まず知ることから始めていきたいと思いました。



【講師の清水展人さん】

参加者の感想(アンケートより抜粋)



【清水さんの講演の様子】

- 性の多様性に関する知識をわかりやすく話してもらって勉強になりました。カミングアウトまでの苦しみ、カミングアウトしてからの苦しみ、社会から受け入れられない現状、生きづらさ、支援してくれる人達との出会いなど自分の人権意識を高める機会となりました。自分の言動も含めて見直したいです。 (40代)
- 私も小学校の同級生で同じような子がいました。今のような多様性のある時代ではなく、とても苦しい思いをしていたんだろうなと思います。今も自分らしく生活しているのだろうか・・・このような人に出会った時には寄り添って今までと変わりなくお付き合い出来たらと思います。 (50代)
- 8%の人が LGBTQ+だと知り勉強になりました。今まで私の周りにはいないと思っていたので改めて考えさせられました。加古川市がパートナーシップ・ファミリーシップの届出制度がある事も初めて知りました。もっと関心を持って生活すべきだと思いました。 (60代)
- 清水さんの経験が聞いてよかったです。保育園で働いていますが、男の子・女の子と区別して見てしまいます。「イヤだ」という子どもの声を受けとめ、何がイヤなのか見極めないといけないと感じました。加古川市内の中学校ではジェンダーレス制服が多く導入されていますが、小学校はまだ進んでいません。検討が必要だと思います。 (30代)
- LGBTQ+は 12.5 人に 1 人いると聞いて驚きました、自分たちにとって身近な問題だと思いました。頭の中では理解できても、もし自分の息子や娘がと考えると心の準備に相当な時間があると思いました。 (70代)
- 驚きばかりの講演でした。それだけ自分の中に何気ない偏見や固定観念があることに気づかされました。 (40代)
- LGBTQ+という言葉が TV・新聞で目にするほか会社でも時折話題になります。自分の周りにはそういう性の悩みを持っている人がいないので関係ないと思っていましたが、講師の方の経験を聞いて悩みを抱えている人は相談せず耐えているだけで私が気付いてないのではないかと思います。知らないうちに傷つけているのかも知れません。悩みを持っている人も周りの家族・友人の協力があれば普通の幸せを感じられるのだと思います。社会的に少数の人や差別的な扱いを受けている人が無いよう、全ての人々が人間として普通に受けることのできる権利を感じられる社会にしていかなければいけないと思いました。 (50代)

わがまちの町内懇談会



平荘小学校校区

木下 裕康 さん

加古川市の北、平荘小学校校区神木地区の市推の木下です。新型コロナの影響で、4年ぶりの町内懇談会の開催となりました。

日時：2023年9月23日（土）19：30～

開催場所：神木公民館

参加者：19名

人権アドバイザー：山田秀美さん

- 1 人権啓発DVD「バースデイ」視聴
性的少数者について理解するきっかけとし、その多様性を認め、互いの人権を尊重することは、すべての人が自分らしく生きていける社会につながっていくという内容。
- 2 人権アドバイザー：山田先生の講義
「性の多様性を認め合う ～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」
 - 人間は誰しも幸せになる権利を有している
 - 性の多様性に関する基礎知識
 - LGBTQ+はいないのではなく、気づいて

いないだけ

- 誰もが自分らしく、お互いの生き方を尊重する社会を
- 加古川市のパートナーシップ・ファミリーシップ届出制度

3 まとめ

今回は人権アドバイザーのわかりやすい講義を受け、大変ためになりました。

新型コロナの関係か参加者が少なく残念でしたが、今回のDVDの内容と、人権アドバイザーからの講義内容を家庭に持ち帰り、家族で話し合う機会を持って、地区全体で人権についての学習・教育を高めていきましょうと人権研修会を締めくくりました。

今後の課題として、町内懇談会に出席できなかった方に対する学習・教育が必要であると考えています。



第3回全体研修会

演題：「部落差別をなくすために」

講師：三木市人権・同和教育協議会 春川 政信 さん

10月17日（火）と19日（木）の2日に分けて、人権文化センターにおいて第3回全体研修会を行いました。講師の春川さんからは、部落差別の現状と課題について、兵庫県下の部落差別の実例を示しながら、分かりやすく話していただきました。参加者のある方が、「春川さんの話を聞くと元気がでる」とおっしゃった言葉が、印象的でした。



【春川さんの講演の様子】

【参加者の方の感想】

- 春川さん。ストレートな口調でとても分かりやすく、実際の例を話してくださるので、リアルな現実を知ることができ、とても参考になりました。1時間、集中して聞けました。
- 部落差別について知らないことが多く、同和地区の場所を問い合わせる電話が今でもあることも驚きました。小中学校以来の同和学习でしたが、この研修はよく分かりました。
- 「土農工商」という学習をしてきたので、現在の教科書では、大きく変わったことがわかりました。いい学びの場となりました。
- インターネット差別の拡散の恐ろしさを感じました。情報を削除するシステム作りが必要だと思いました。



「詐欺被害に遭わないために」

神野小学校区

邦近 正道 さん

御存知ですか？詐欺被害に遭われている方の8割が、65歳以上の高齢者です。「わしゃ大丈夫や」「私は大丈夫」と、皆さんお考えでしょうか？

それでも被害に遭われた方は、皆さん口を揃えたように同じようなことを言われるそうです。「なんで詐欺に遭ったんやろ？」「なんであの時、落ち着いて冷静になれなかったんやろ？」と。

被害に遭われた方々も、5年・10年前は被害には遭われていません。詐欺の手口が巧妙化するとともに年月が過ぎ、歳を重ね判断力が鈍り被害に遭われています。被害に遭われた方々の、5年・10年前の立ち場が今の自分かもしれませんよ。

いつ自分の身に降りかかってくるかもしれません。他人事とは考えず、これを機に真剣に考えてみませんか？



WHO（世界保健機構）や国連では、65歳以上の人口の割合が7%を超えた社会を「高齢化社会」、14%超えて「高齢社会」、21%超えて「超・高齢社会」と定義付けしています。

日本では1995年（阪神淡路大震災の年）に20%を超え「高齢社会」に突入しています。あれから28年たった2023年、全国で

65歳以上の方は3,623万6,000人。日本の人口が1億2,494万7,000人で、65歳以上の方が29%を超えています。

「超・高齢社会」は、大介護時代の幕開けでもあります。65歳以上の要支援・要介護認定者数は増え続けています。介護する側も「介護疲れ」や「ヤングケアラー」、「老老介護」、「ダブルケア」の問題も浮上し対応しきれず、自ら“命を絶つ”方も出てきています。そんな中で、僅かな老後資金にと蓄えていた預貯金を詐欺に遭って騙し取られて苦しんでいる方が少なくありません。

最大の不安は、一人暮らしの高齢者の孤立化だと考えます。詐欺の手口は多種多様・複雑巧妙化し、進化しています。詐欺もAI化し、近々日本でも起こりうる詐欺です。ターゲットを見つけ親子（孫）と思われる二人を隠しカメラで撮影し、顔だけを使いTV電話を掛けてくる。話もAIが話して声が違うと思っても、顔が息子（娘・孫）なので信用してしまい騙されてしまうようです。

進化してAIを駆使してTV電話がかかってきますが、最も効果のある対策はアナログです。なんだと思いますか？身内しか判らない合言葉です。例えば「ペットの名前は？」などです。

是非、家族で決めておいてください。これに勝る対策は無いようです！

市推協「人権啓発物資（ポケットティッシュ）」の配布について

今年も加古川市人権啓発推進員協議会では「人権啓発物資」の配布を行います。先日の全体研修会でお渡ししたポケットティッシュを各地域で人権の大切さを呼びかけながらお配りいただきますようお願いいたします。

- ・ 個数 …………… 20
- ・ 期限 …………… 12月10日（日）「世界人権デー」まで
- ・ 配布後 ……… 活動報告書の「啓発物資配布」の欄に実施日と場所をご記入ください

※ 活動報告書は2024年1月10日（水）までに地区理事にご提出ください。

それ以降は、人権文化センターに持参または郵送・FAXでご提出ください。